

# 摂食障害に対する一般女性の認識調査



MUSÉE  
PLATINUM

一般社団法人日本摂食障害協会  
協力:株式会社ミュゼプラチナム  
分析:小原千郷

# 病名の認知度と、誤解・偏見について調査

## <調査の対象者>

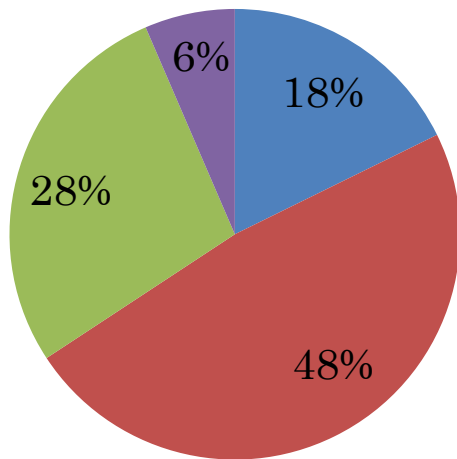
- 調査人数:4017名
- 対象:ミュゼプラチナム会員女性
- 年齢:平均27.0歳
- 調査期間:2016年8月23日～8月31日
- 調査方法:WEB(会員向けアプリ)
- アンケート内容:摂食障害にかかわる専門家、全国の家族会の代表より摂食障害に関する世間の偏見や誤解について聞き取り、質問を作成



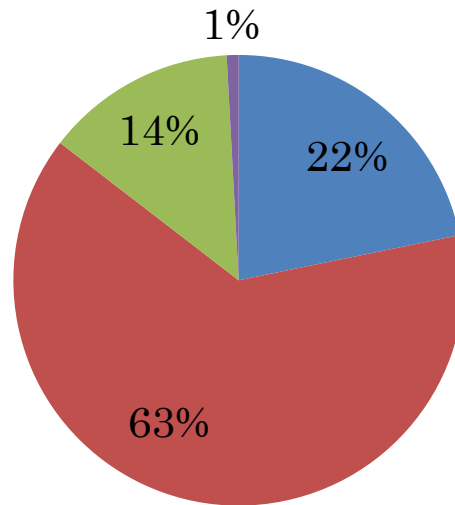
# 「摂食障害」「拒食症」「過食症」の認知度

- よく知っている
- ある程度知っている
- 病名は聞いたことがあるが、症状などは知らない
- 病名も聞いたことがない

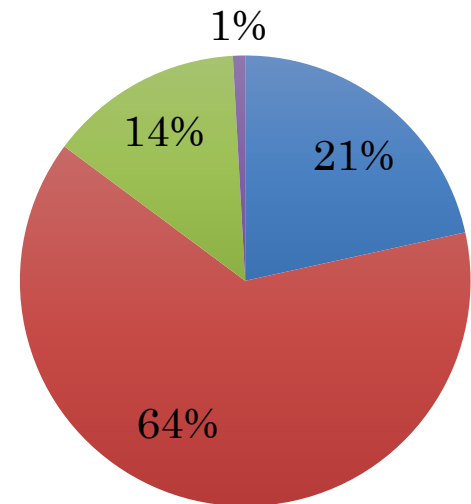
## 摂食障害



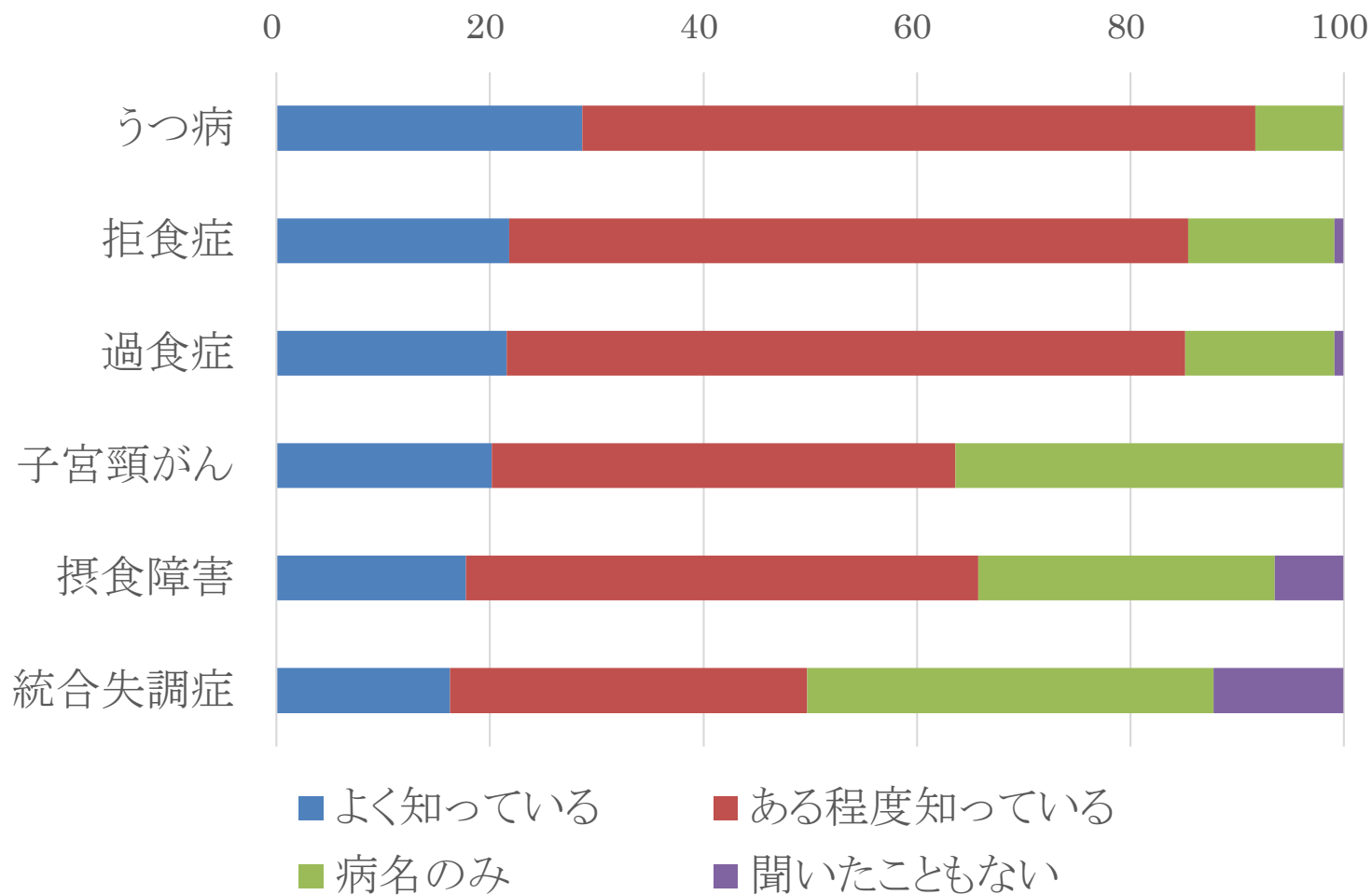
## 拒食症



## 過食症



# 「うつ病」「統合失調症」「子宮頸がん」との 認知度の比較



# 摂食障害に関する誤解と偏見

- 過去の研究と、摂食障害にかかわる専門家、関係者のコンセンサスをもとに、摂食障害に関する世間の「誤解や偏見」の質問を作成
- 各質問に、「そう思わない」「あまりそう思わない」「少しそう思う」「そう思う」の4段階で回答を求めた

- 専門家のコンセンサスと異なる回答を「誤解・偏見」とみなして採点  
<採点例>

- ◆ タバコは体に良い→専門家のコンセンサスはNO

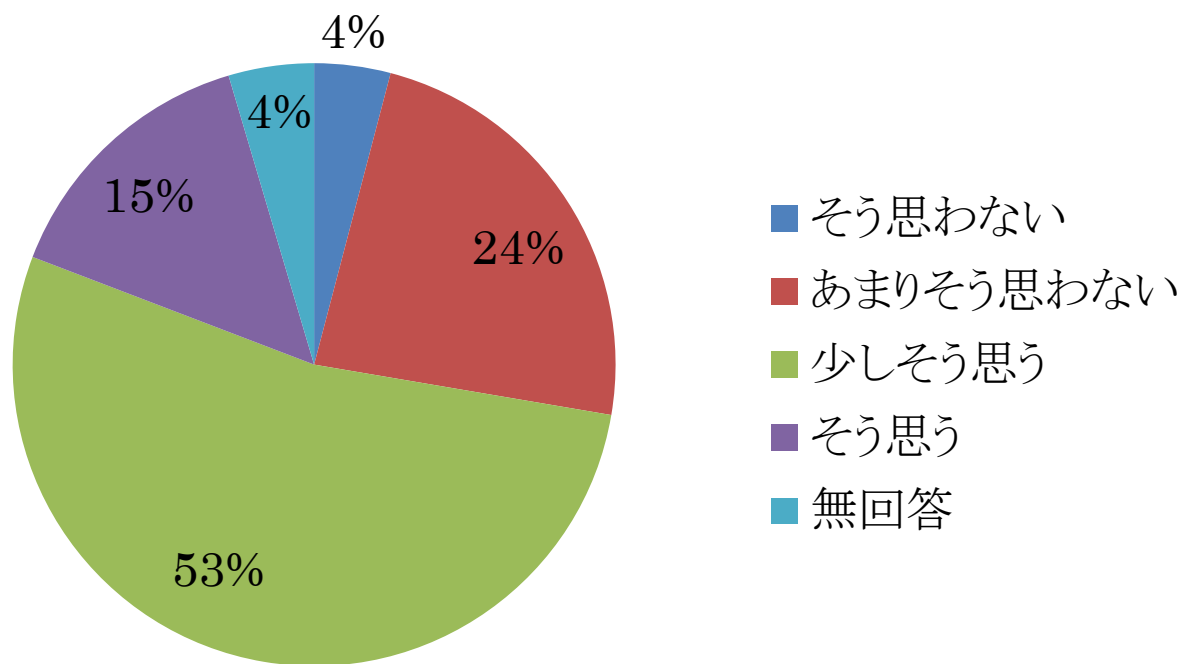
そう思わない=0点、あまりそう思わない=1点、

少しそう思う=2点、そう思う=3点

回答者の割合 =  
誤解・偏見率

- 個人の合計得点を「誤解・偏見度」として、メディア視聴との関連を検討した

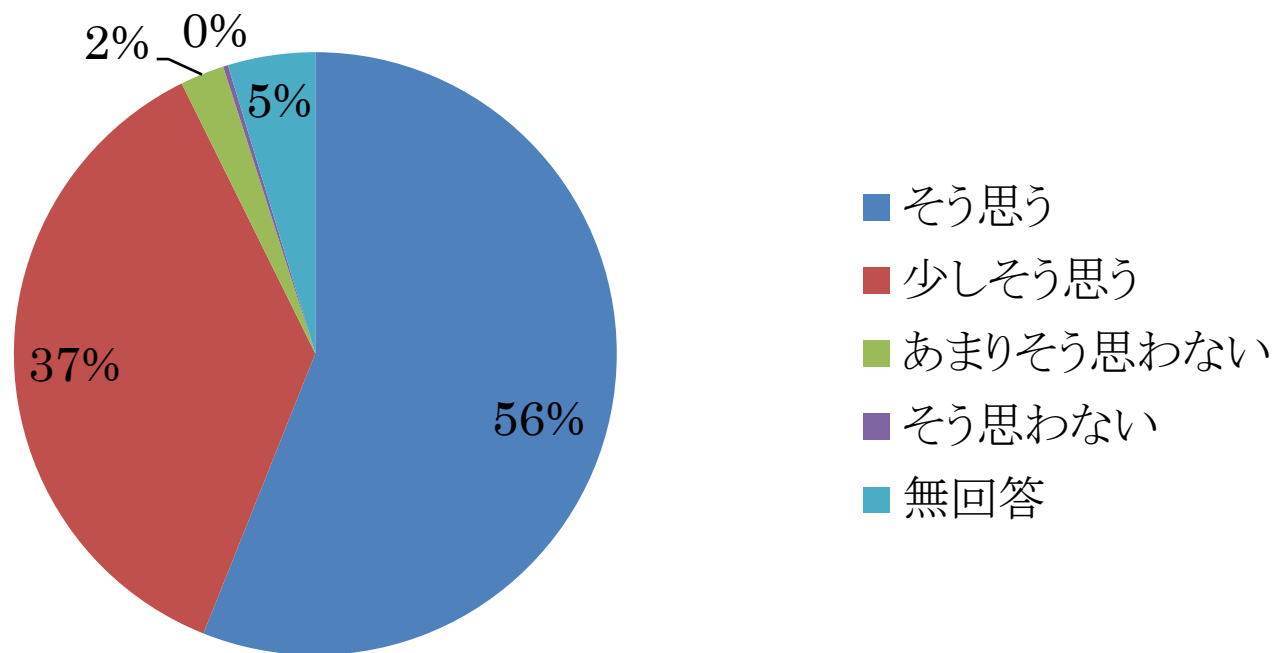
# 1. 摂食障害は、ダイエットが一番の原因だと思う。



コンセンサス=NO 誤解・偏見率68%

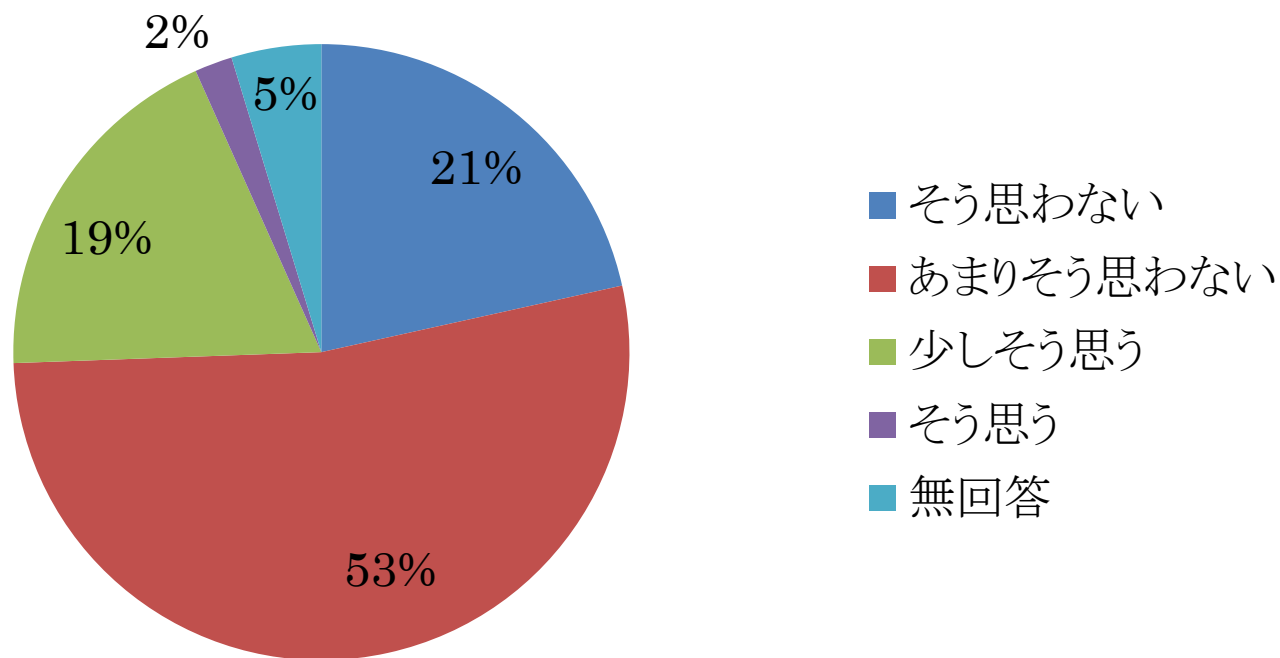


## 2. 摂食障害は、ストレスが関係する疾患だと思う



コンセンサス=YES 誤解・偏見率2%

### 3. 摂食障害は、母親の育て方が原因だと思う

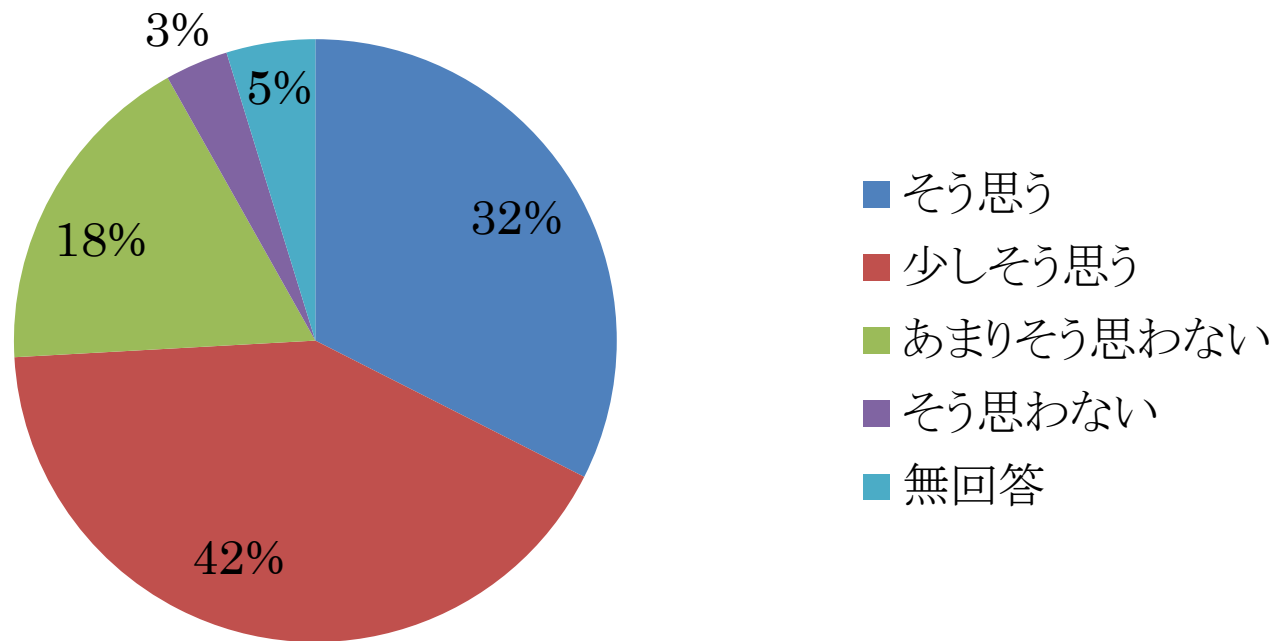


コンセンサス=NO 誤解・偏見率21%





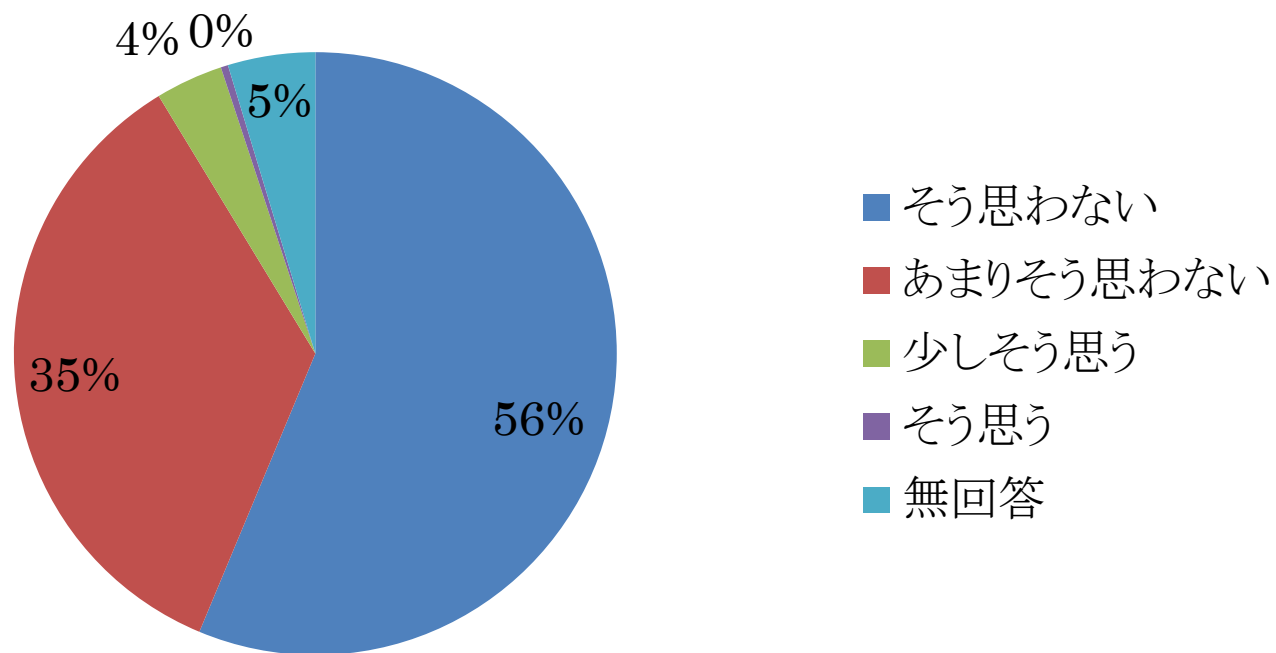
## 4. 摂食障害から完全に回復することは可能だと思う



コンセンサス=YES 誤解・偏見率22%



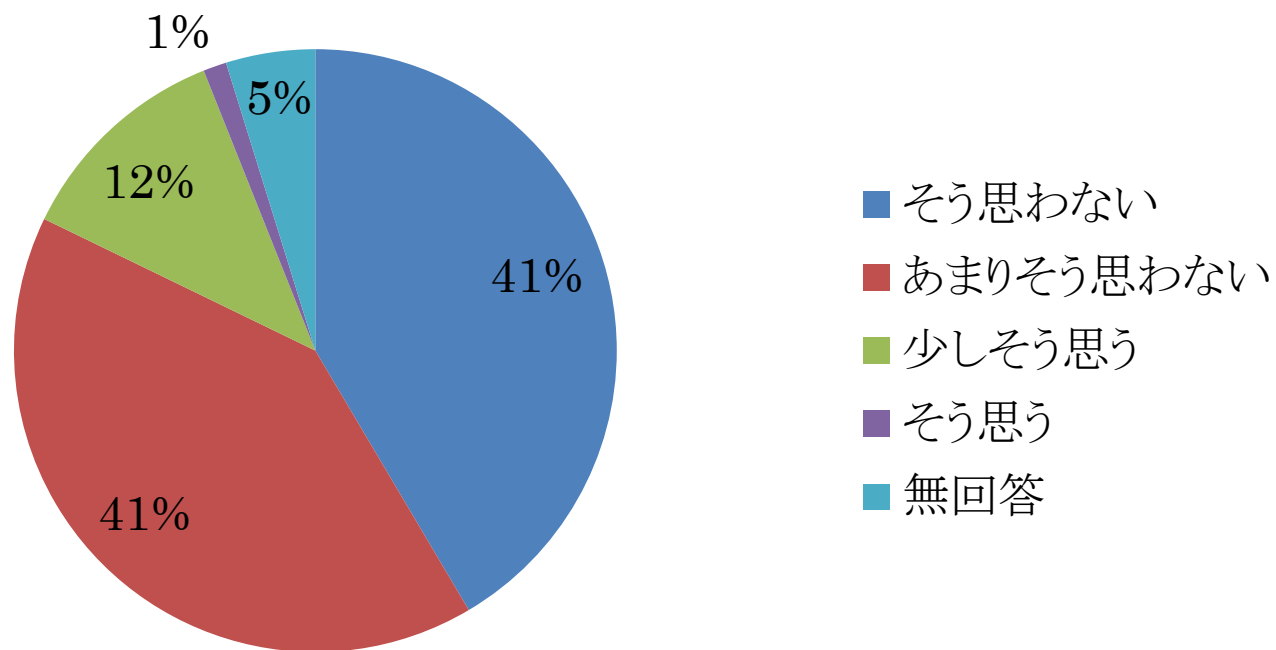
## 5. 摂食障害の治療は、本人の問題なので 家族は関わらないほうが良いと思う



コンセンサス=NO 誤解・偏見率4%



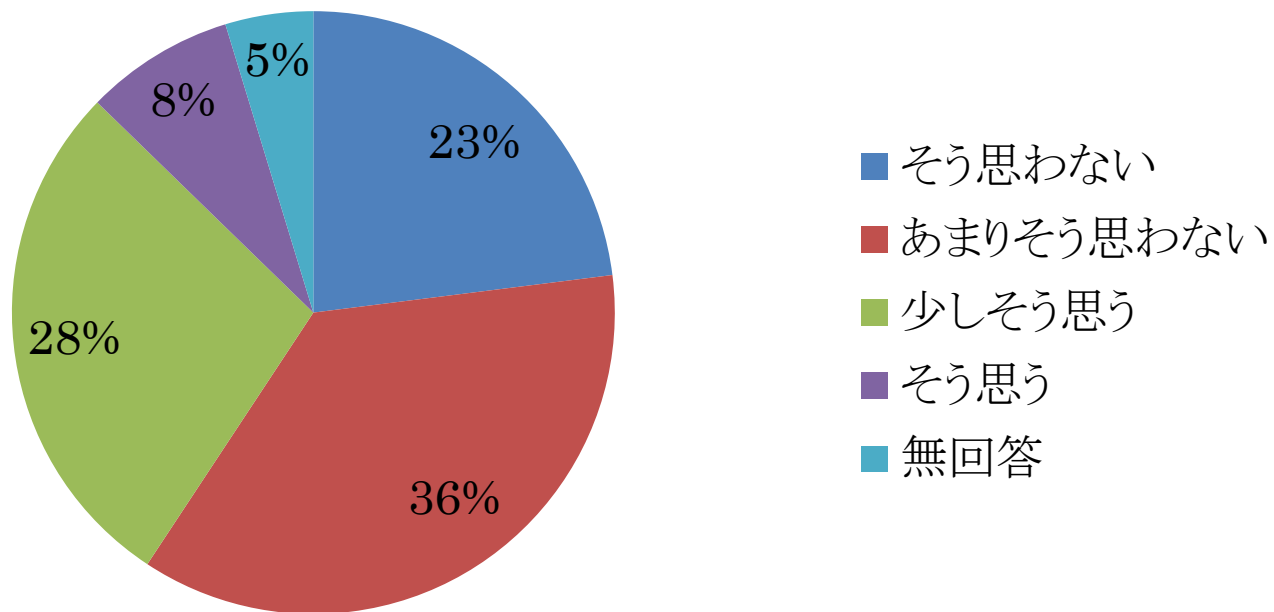
## 6. 摂食障害は、女性だけの病気だと思う



コンセンサス=NO 誤解・偏見率13%



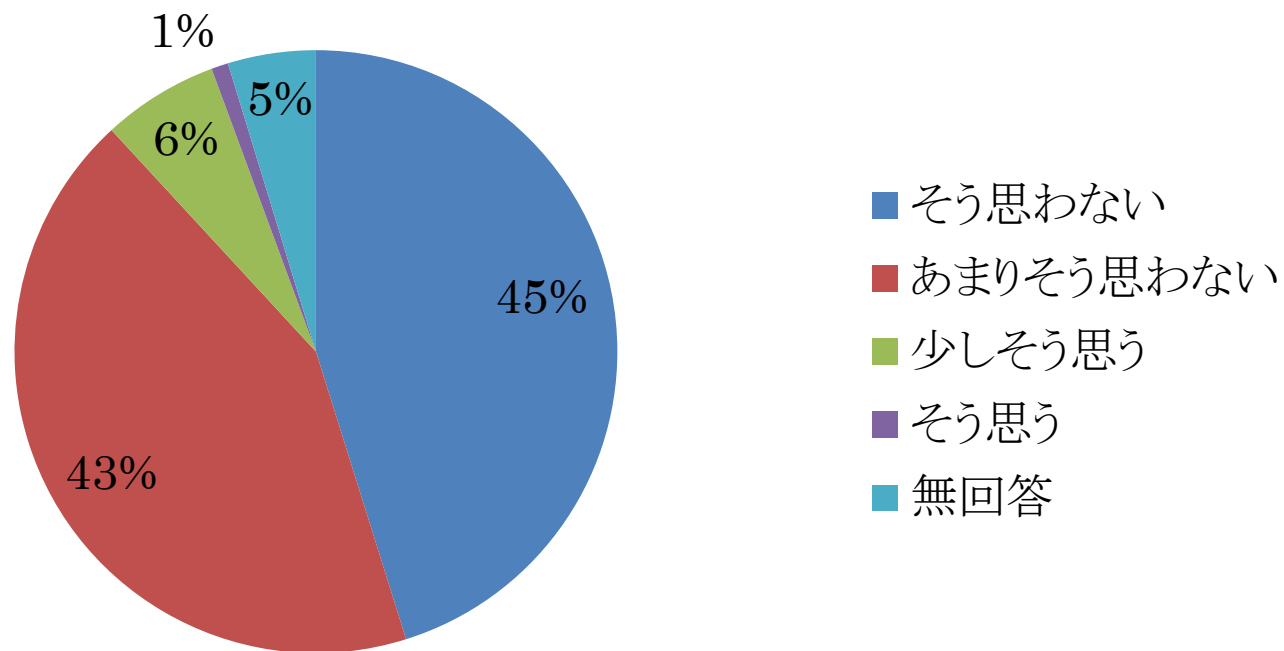
## 7. 拒食症の人は、 自分の意思で拒食をしていると思う



コンセンサス=NO 誤解・偏見率36%



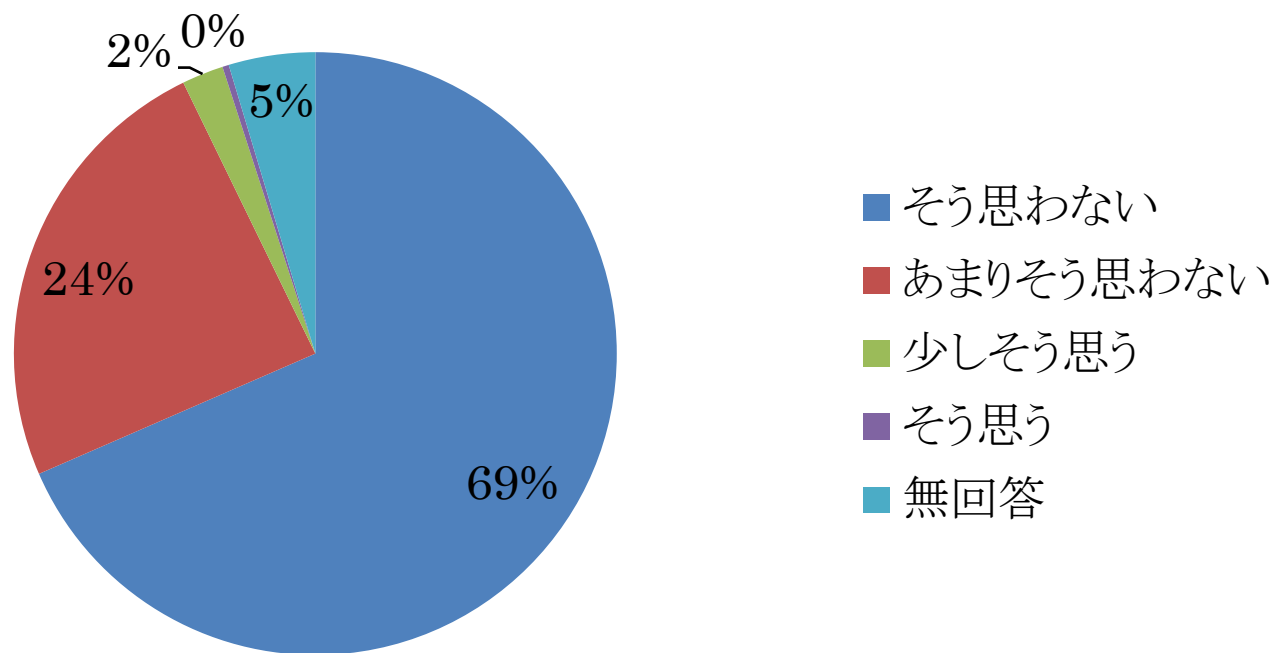
## 8. 拒食症は、 体重さえ回復すれば治癒すると思う



コンセンサス=NO 誤解・偏見率7%



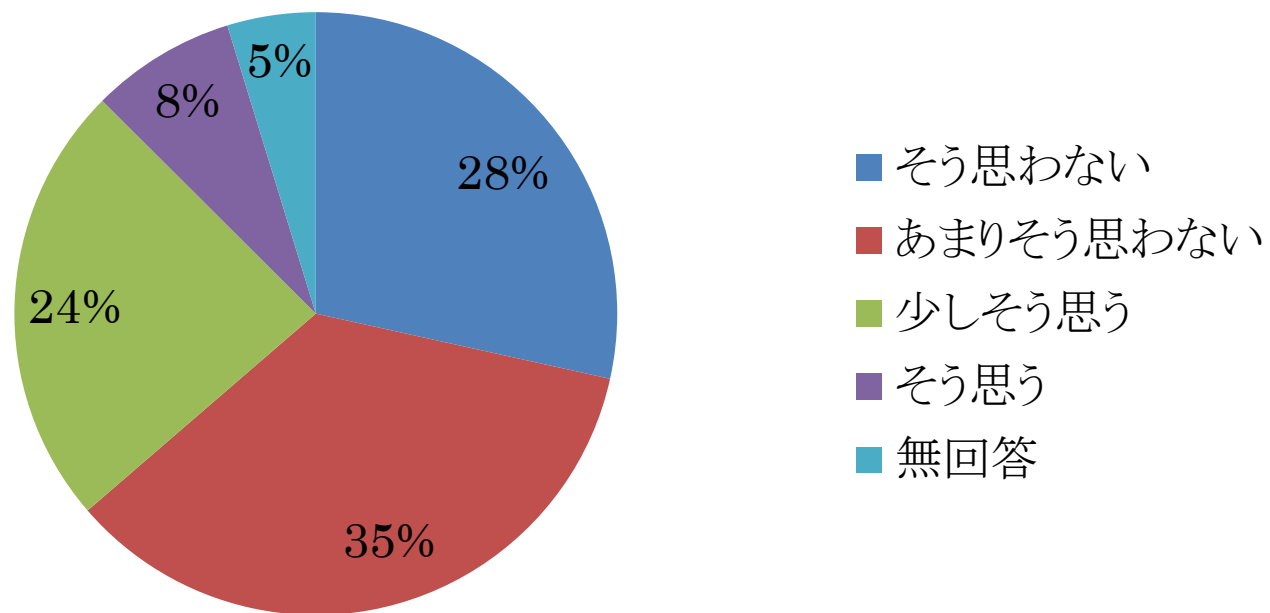
## 9. 拒食症は、やせているだけで 生きていくうえでは特に問題がないと思う



コンセンサス=NO 誤解・偏見率2%



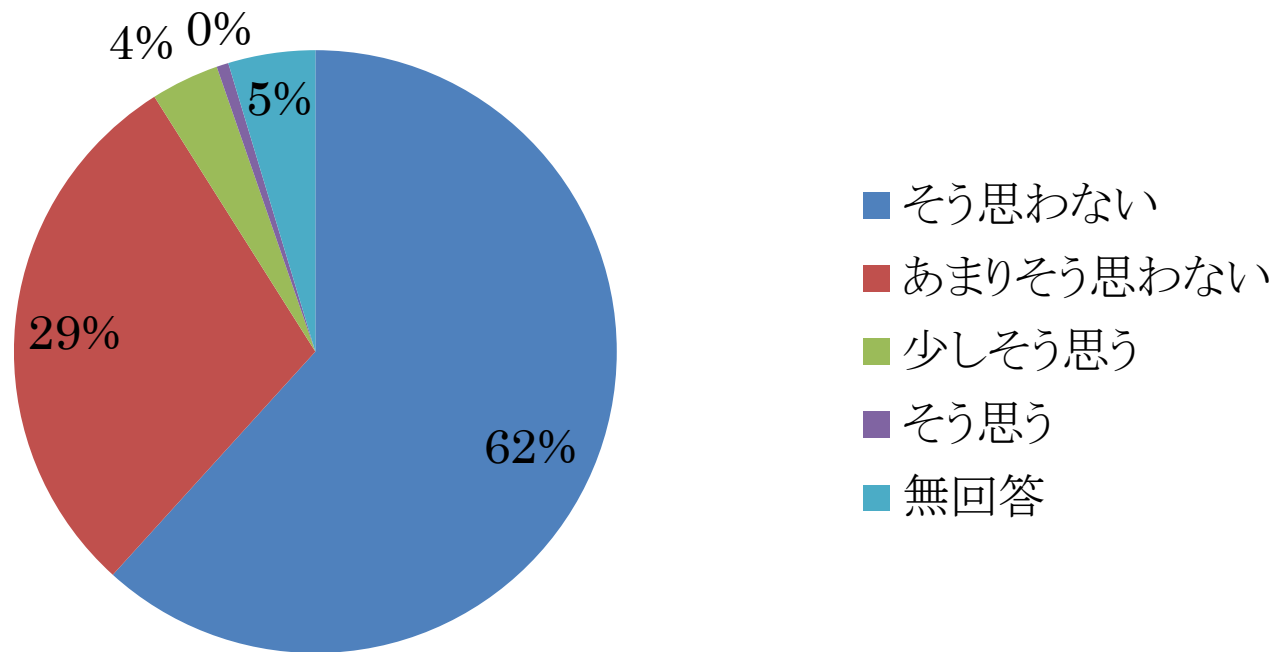
## 10. 過食症の人の多くは、肥満だと思う



コンセンサス=NO 誤解・偏見率32%



# 11. 過食症は、食べすぎるだけで大きな問題ではないと思う

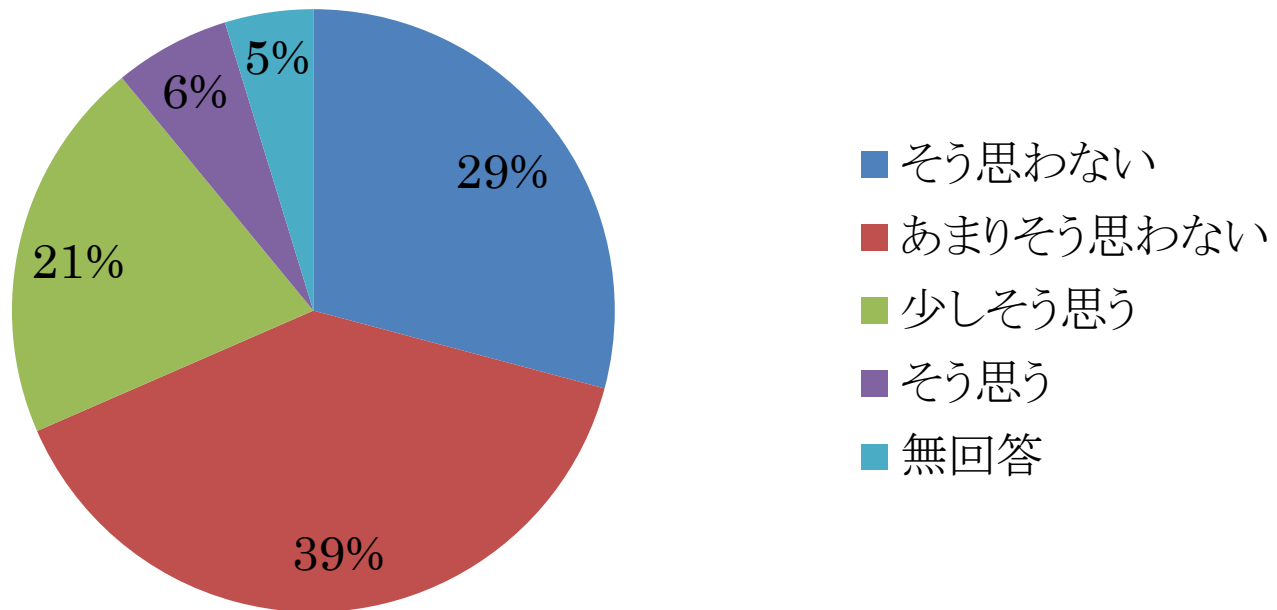


コンセンサス=NO 誤解・偏見率4%





## 12. 過食症の過食は、 強い意志があればやめられると思う



コンセンサス=NO 誤解・偏見率27%

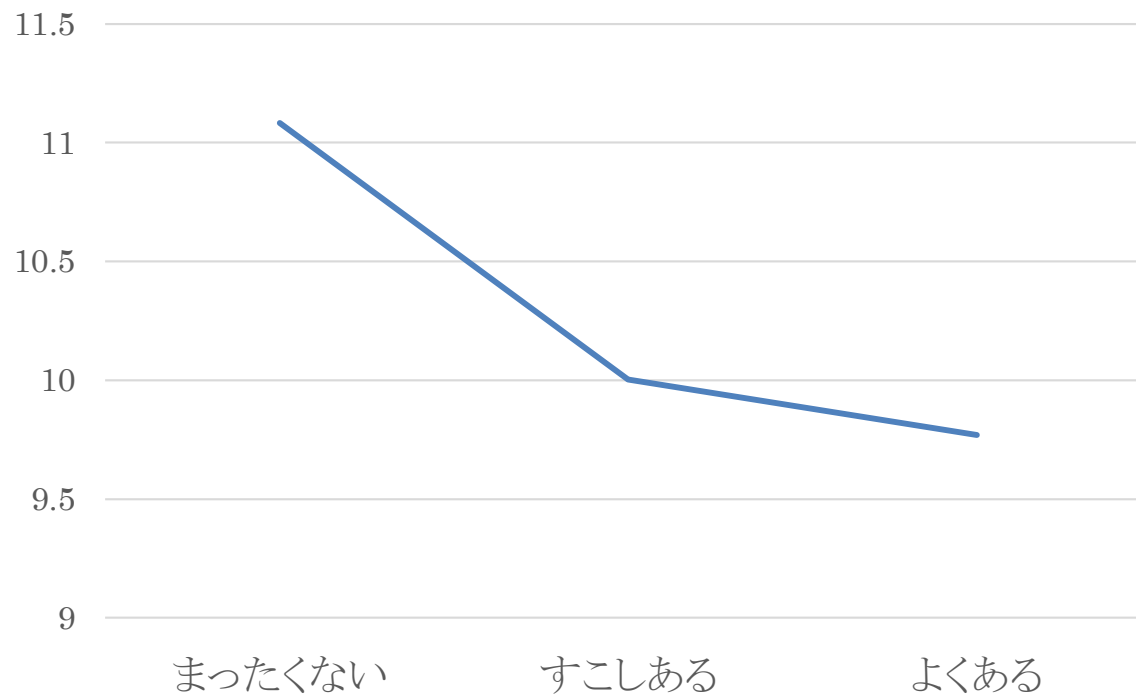


# メディアの視聴と誤解・偏見度の関係

質問: 摂食障害の情報を見聞きした事のあるメディアを教えてください



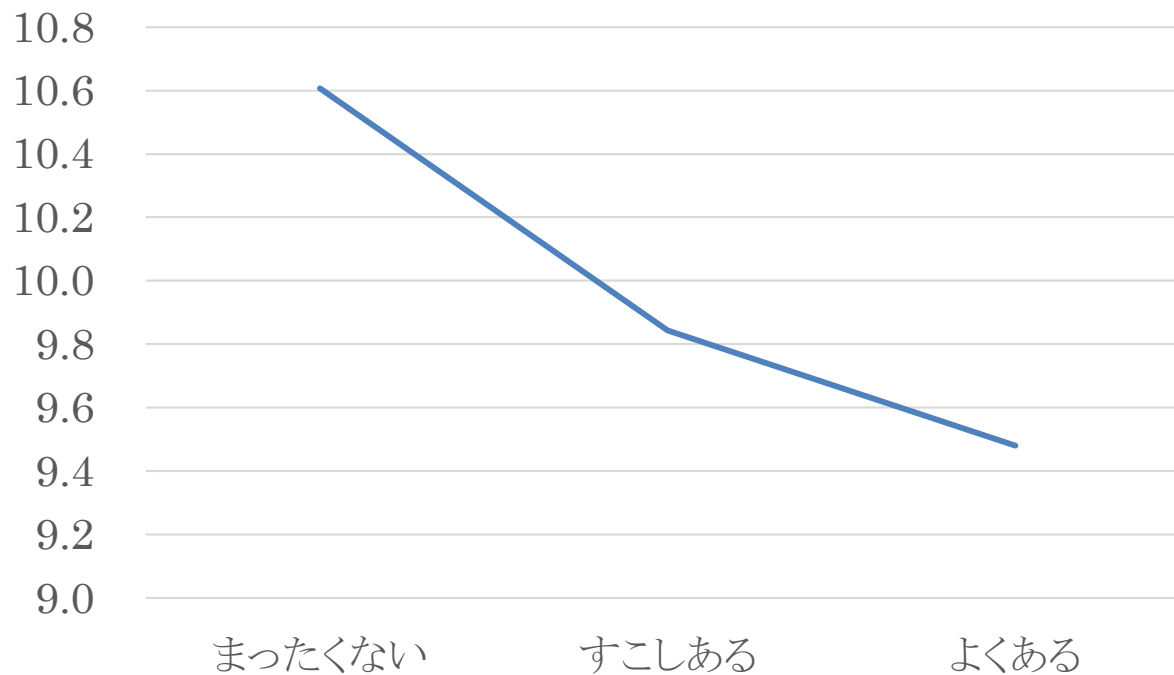
## テレビ視聴と誤解・偏見度の関係



- 「まったくない」>「少しある」「よくある」
- 「ダイエットが一番の原因である」という誤解・偏見については、テレビをよく見る人の方が高い



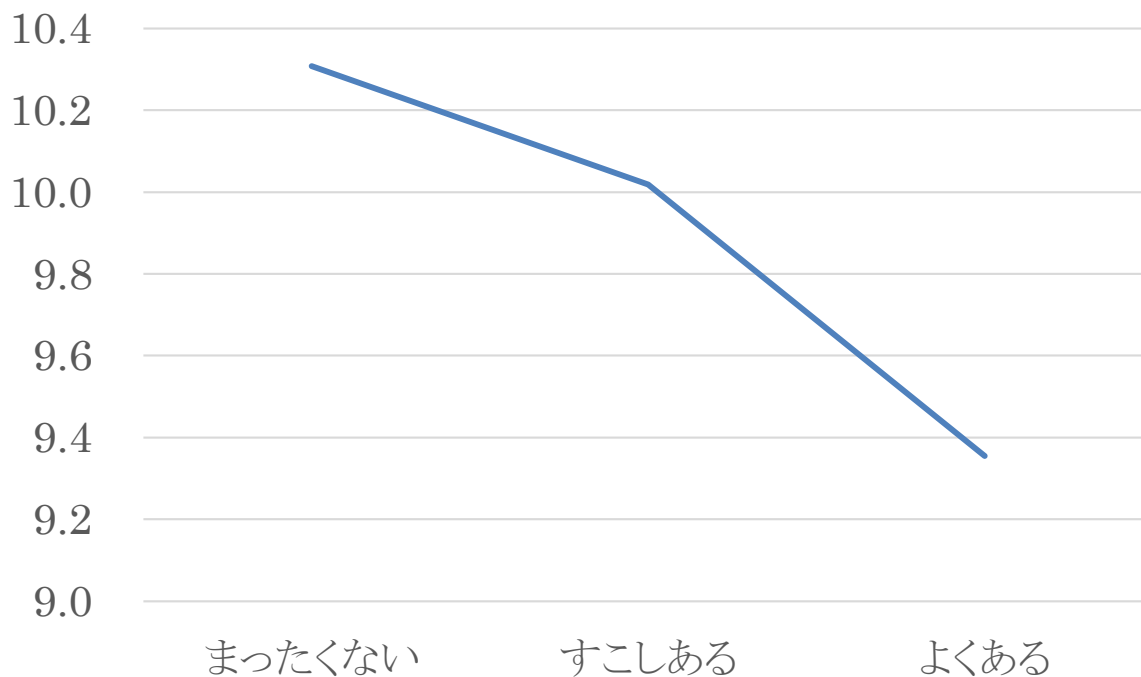
# インターネット閲覧と誤解・偏見度の関係



- 「まったくない」>「少しある」「よくある」
- 「ダイエットが一番の原因」「母親の育て方が原因」という誤解・偏見は、インターネットをよく見る人の方が高い



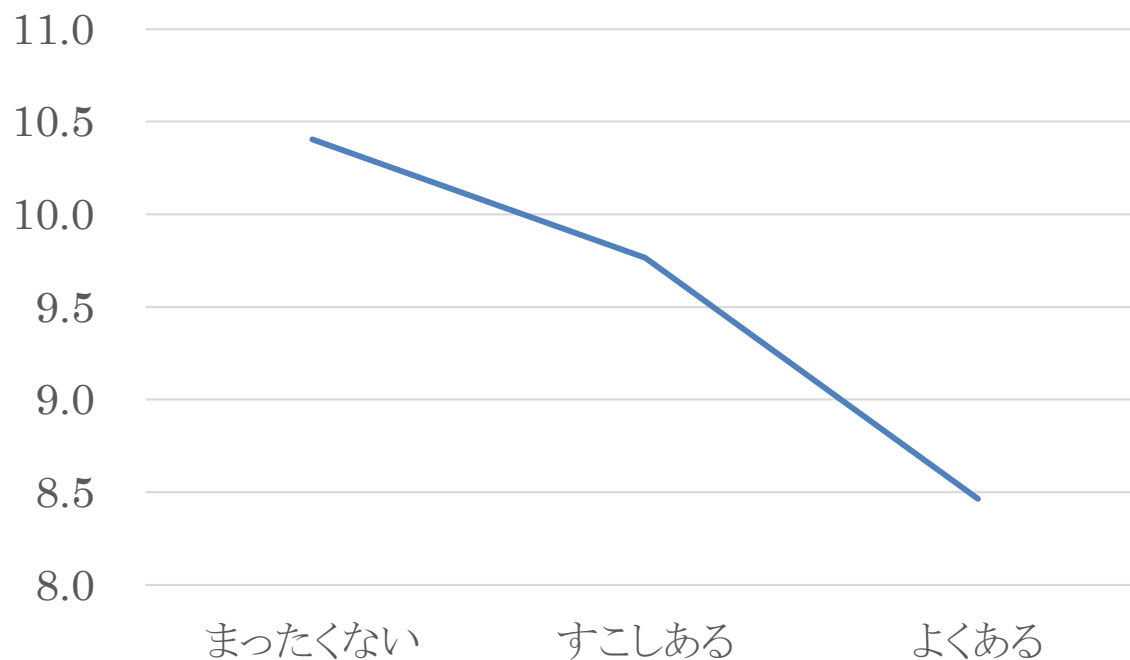
## 学校の保健の授業と誤解・偏見度の関係



- 「ダイエットが一番の原因である」という誤解・偏見については、よくある人の方が高い



## 専門家の書いた本や講演と偏見の関係



- 「まったくない」、「少しある」、「よくある」の順に偏見度が低下
- 「母親の育て方が原因」は、逆の傾向にあった



# 雑誌と誤解・偏見度の関係

- 雑誌の閲覧とは関係がみられなかった

